

- 将来的な空き地活用を見据え、現状の空き地に加えて、将来空き家となり得る土地の情報をまとめた空き地マップを作成
- シミュレーション及び実証実験により、空き地の活用による雪処理の効率化の可能性を確認

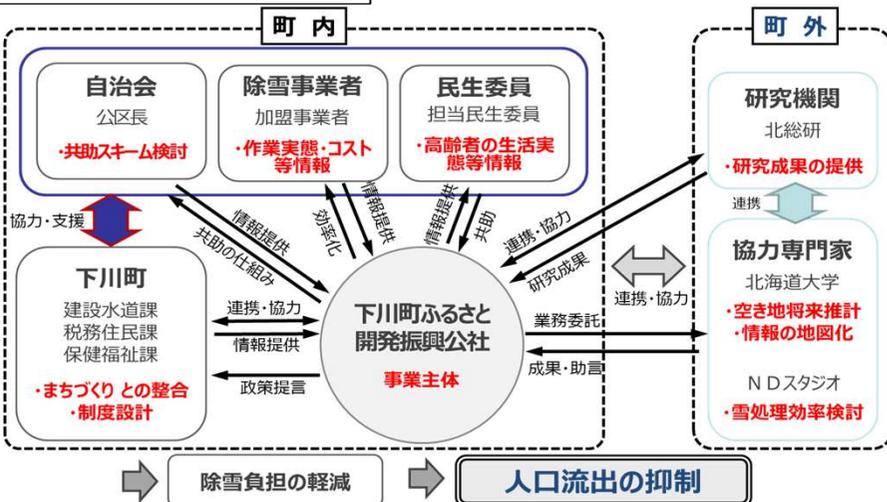
背景・課題

調査対象地域では、過疎・高齢化の進展による空き地の増加に伴い、その有効活用と管理不全の解消が求められている。また、除雪など雪処理負担の増大が、多雪地域である調査対象地域からの転出の大きな理由となっていることから、除雪の負担軽減が重要な地域課題となっている。

調査目的

空き地及び空き地予備軍とされる特定空き家の可視化と、空き地の活用による除排雪の効率化に関するシミュレーション及び実証実験から、地域における空き地の適正管理と積雪寒冷地ならではの除雪における空き地活用を組み合わせたスキームを検討する。

事業内容・スキーム



モデル調査の成果

- ・ 将来的な空き地活用を見据え、空き地予備軍とされる特定空き家やそれに相当する建物を含めた空き地マップを作成することで、地域における現状と将来像を踏まえた空き地の分布を可視化することができた。
- ・ シミュレーション及び実証実験により、空き地を活用することによる行処理の効率化を確認した。



作成した空き地マップ



空き地を活用した除排雪実証実験の様子

- ① 市街地エリアにおける空き地の調査
 - ・ 町内中心市街地の空き地の実態調査を実施した。
- ② 空き家データベースに基づき空き地の将来予測
 - ・ 現状の空き家のランク等を基に将来空き地となりうる建物を特定した。
- ③ 空き地のデータベース(地図)化
 - ・ 上記①および②を地図上に落とし込んだ。
- ④ 空き地活用による雪処理効率化の検討
 - ・ 空き地を活用することによる、市街地の効率的な雪処理方法を検討した。
- ⑤ 地域共助による空き地の管理・活用スキームの検討
 - ・ 年間を通じた空き地の適正な管理・活用の在り方について、課題やその解決方法、仕組みを検討した。